

歓喜院平和の塔

平和の塔は、妻沼聖天山歓喜院内庭園の小さな丘の上にあります。第二次世界大戦の戦没英霊の供養と 1951 年サンフランシスコ講和条約への批准を祝して建立されました。サンフランシスコ講和条約は、第二次大戦後、日本と連合軍間の和平関係を正式に取り戻し、連合軍による日本支配を法的に終わらせました。

大日如来と十一面観音菩薩を含む 4 体が祀られています。

平和の塔は、18 世紀に歓喜院聖天堂の建設を監督した名工、林正清（1678～1753 年）の子孫が建立したものです。平和の塔は、国の登録有形文化財です。